

■米国：大雪のため米国東部で大規模停電が発生

2010年2月5日から6日にかけて降りつづいた雪により、大西洋側を中心とした米国東部で大規模な停電が発生した。停電は主にワシントン D.C.およびペンシルベニア、メリーランド、バージニアの各州で発生し、ボルチモアガス&エレクトリック (BG&E) 社で 9.7 万世帯、PEPCO 社で 19 万世帯、ドミニオン社で 4.8 万世帯、アレゲニー・パワー社で 9.2 万世帯、デュケイン・ライト社で 5.7 万世帯、アトランティックシティー・エレクトリック社で 9 万世帯、延べ 57 万世帯以上に影響が出た。停電の多くは、降雪と強風のため樹木が配電線に接触、電線を切断したため引き起こされた。電力会社はケンタッキー、オハイオ、テネシーなど他州からの応援を受けながら復旧作業にあたり、2月6日までにほとんどの地区で停電は解消された。今回のワシントン近郊の積雪量は、観測史上 4 番目の規模であった。